

一般社団法人 学修評価・教育開発協議会
令和 8 年度 事業計画書

令和 8 年度は、遠隔会議システム等を用いて教職員及び学生が交流できる事業を進めるとともに、各会員校の教育改革に資する取り組みを行う。

1. 企画調整委員会関連

○ 国内留学事業および単位互換プログラム事業の実施

単位互換協定に基づき、会員校間の学生交流を推進し、地域を越えた連携によって学生の学びがより深いものになるよう、以下のプログラムを実施する。

① 国内留学事業の実施（前期／後期）

実施予定：関西国際大学、共愛学園前橋国際大学、富山国際大学、宮崎国際大学、札幌国際大学、創価大学、松本大学、新潟工科大学

② 連携開設科目

令和 6 年度から連携開設科目を開設した。令和 8 年度は 7 大学で実施する。

（開講科目）

春学期（前期）	秋学期（後期）
・観光事業論（札幌国際大学） ・くらしの化学技術（新潟工科大学） ・スポーツと法（松本大学） ・キリスト教と多文化社会（共愛学園前橋国際大学） ・コミュニティ防災（関西国際大学） ・観光概論（宮崎国際大学）	・北海道学（札幌国際大学） ・ユニバーサルデザイン（新潟工科大学） ・人工知能とその活用（富山国際大学） ・ジェンダー論（富山国際大学） ・現代社会と聖書（共愛学園前橋国際大学） ・データサイエンス（関西国際大学） ・政治学概論（宮崎国際大学）

※オンデマンド授業を拡充するとともに、各大学で卒業要件科目群への組み入れを検討する。

③ 会員校への科目開放（対面・単位互換）

（予定科目）

- ・防災士養成講座（関西国際大学）
- ・国内のグローバルスタディ（関西国際大学）

※追加・変更の可能性あり

○ オフキャンパス報告会の実施（継続）

オフキャンパスの経験と成果、課題について学生の代表による報告とともに意見交換を行う。令和 6 年度は対面と遠隔会議システムを合わせたハイフレックス、令和 7 年度は対面で実施したが、令和 8 年も対面で実施を予定。場所は交通の便を考え、東京で実施する。テーマは、地域連携に加え、グローバルな視点や国際的な観点の取り入れるも可とする。

テーマ：「持続可能な連携による地域社会への貢献」（令和 1、5～7 年度同様）

実施日：令和 8 年 11 月 28 日（土）午後・夜

実施場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1

TEL：03-3469-2525

○ 共同 FD/SD の実施

会員校に共通する専門分野に係る FD，専門性の高い教職員養成に係る SD を共同で企画し実施する。

① 留学生向けのカリキュラムに関する FD

留学生の日本語能力に差がある状態で、どのようなカリキュラムを組んでいくか。リテンション対策、入学前教育や初年次教育、卒業後の日本での就職を考えた就職支援キャリア教育などについて、各大学の情報を共有する。

② 個別最適化に関する FD

学生の多様化が進行しているなか、初等中等教育では個別最適学習が導入されている。大学教育における個別最適学習の取組み（アダプティブ・ラーニング等）についての共有もしくは識者の講演を実施する。

③ 教学マネジメントに関する SD

各連携校の中期計画の取組について体制や課題について意見交換する。

④ 部署別 SD

大学ガバナンス改革の動向、教学マネジメント、人材育成、業務改善、入試改革など、部署別のニーズに合わせた共同 SD を実施する。

以上のほか、教学マネジメントへの学生参画、大学教育への生成 AI の活用、マイクロレデンシャルなどについての研修会等を検討する。

○ 社会人向け教育研修プログラムの開発及び実施

企画調整委員会の下にワーキンググループを置き、リスキリングなど主に社会人を対象とした教育研修プログラムを共同で開発し、マイクロクレデンシャルの定義とデジタルバッジの発行に向けた検討を行う。

- ① 指導補助者教育研修プログラムへの受講者参画（企画：松本大学、実施：一財）全国大学実務教育協会）
- ② 日本語教育、ICT・AI スキル、心理学知識等に関するマイクロクレデンシャル

2. IR 研究委員会関連

○ 言語的思考力テストの共同実施

入学時に大学で学ぶために必要な言語運用力と数理分析力を診断するテストの実施。実施大学には、学生個人及び学科ごとのフィードバックあり（オプション）。

○ IR 研修会（共同開催）の実施

会員校の IR の取組を強化するため、各大学での IR や評価に関する先進的な取組について講演していただく。特に、IR データの学修支援や学生支援への活用など、様々な活用方法や個人情報の取り扱いへの対応について学ぶ。

実施時期（予定）：令和 8 年 8 月下旬～9 月上旬、令和 9 年 2 月下旬～3 月上旬

○ 日本語能力診断テスト開発及び支援策

IR 研究委員会の下に日本語能力診断テスト開発ワーキンググループを置き、外国人留学生の日本語能力を測定するためのテスト開発を進め、活用に向けて検討を行う。活用が始まった際には導入した Tableau を活用して共同分析を行う。

合わせて、日本語能力アップをはじめとする様々な支援策について研究を行う。

3. その他

- ・理事会の開催（令和 8 年 5 月 15 日、6 月 19 日、令和 9 年 3 月予定）
- ・定時社員総会の開催（令和 8 年 6 月 19 日）
- ・経営会議の開催（令和 9 年 3 月予定）
- ・各種委員会の開催
- ・各会員校で行う講演会・FD 研修会について希望に応じて配信する。
- ・新規会員校、賛助会員の募集
- ・情報発信

以 上